防災対策のヒント

日本の広い地域で地震や大雨・台風などの災害が発生しています。
日ごろからの備えで被害を少なくすることができます。
災害時のポイントや防災のポイントを紹介します。

地震がきたら(緊急地震速報を受けたら)

身を守る

・【家の中】机やテーブルの下に入る【外】ブロック塀、看板、ガラス窓から離れる

揺れがなくなったら

・火事を防ぐため、火の元を確認し電気のブレーカーをおとす
・出火したときは落ち着いて消火する
・ドアや窓を開けて、出口を確保する

逃げる時・避難所に向かう時

・非常持ち出し品*は最小限に・靴下や靴を履く　・徒歩で避難する
・バッグやクッションなどで頭を保護する　・徒歩で避難
・落下物から身を守るため、建物、塀、看板、ガラス窓から離れて歩く
・テレビ・ラジオ・インターネット・行政から正しい情報を得る☛NHK地震速報

*非常持ち出し品・・・水、非常用食料、薬、携帯ラジオ、懐中電灯、予備の電池、ライター、軍手、缶切り、タオル、雨具、下着、靴下、貴重品、パスポートや在留カード、保険証及び連絡先のコピーなど

日ごろの備え

- 緊急速報メールを受信設定する
- 災害用伝言サービスを体験する
- 避難所の場所を確認する。
- おおさか防災ネット・ハザードマップを確認する。
- 家具類の転倒・落下・移動を防止する。
- 非常持ち出し品を準備する
- 家族、友達、大使館の連絡先を携帯電話に登録し、連絡先メモも用意する

大雨・台風がくる前に・・・

・テレビ・ラジオ・インターネットでは正確な情報をキャッチ　☛気象庁HP
・家のまわりの安全点検。風で飛ばされやすいものは屋内に移す
・外出は避ける　・非常持ち出し品を準備する